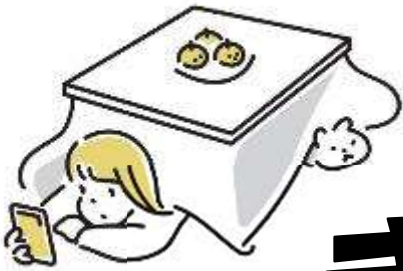




令和4年度



**まちづくり
応援補助金**

実績報告書



1 団 体 名	備北地域マルシェ実行委員会
2 事 業 名	ステキな備北に集マルシェ/『～農工商&学生～』
3 事 業 費	2,323,188 円（うち補助金：1,000,000 円,自主財源 1,323,188 円）
4 事 業 内 容	<p>地域を支えている様々な事業者と学生がコラボして、事業所の魅力や地域の魅力を広く伝え、それぞれの事業所と地域の発展に寄与することを目的にマルシェの開催を企画。</p> <p>①「Various Industry（業種）」 通常のマルシェでよく見られる飲食・小売業以外に、農業・工業等さまざまな事業者の参画を促す。</p> <p>②「Generation（世代）」 地元の高校生や大学生と事業者が協力してプランニングし、学生から高齢者まで幅広い世代が楽しみやすい事業を目指す。</p> <p>③「Region（地域）」 県内外に向けて備北地域全域を PR する。</p> <p>上記 3 つのテーマをもとに、企画段階から地元の高校 7 校と連携し、「<u>地域に根ざした事業を地域全体で PR し活性化させる</u>」をスローガンに挙げて取り組んだ。</p> <p>具体的には、6 月から学生とのコラボを受け入れて頂ける事業所を募集し、7 月上旬にはコラボ先を選定、7 月下旬から 8 月末までの間に学生の職場体験学習やマルシェに向けた試作品開発などを実施し、マルシェ当日に向けて準備を重ねた。</p> <p>残念ながらマルシェ開催当日に台風が接近したため中止にしたが、今年度、一部内容を変更して開催。33 事業者と 115 名の学生が参画し、2,675 人の来場者を迎えることができた。</p>
5 波 及 効 果	<p>【事業の効果】</p> <p>学生と事業者との交流や、学生と来場者、事業者と来場者それぞれの交流により、新たな発見や観光資源の発掘など地域の活性化に繋げることができた。</p> <p>また、本事業に参加したことで初めて地元の事業者を知った生徒も多く、一般消費者への PR に加えて、学生への事業所 PR の機会にもなり、将来地元での就職や創業が期待できる。</p> <p>実際に、学校の事業メニューの一つとして今回の活動を外部に発表する機会が設けられていたが、その際に発表者である学生から、「商品開発から売るところまでの経験ができ、将来に活かせる体験だった」「自分たちで協力し合って商品を作る経験や、お客様の笑顔を直接見ることができたことはいい経験だった」といった感想を聞くことができ、「地域の事業者や事業を知る」機会を創出することができたと言える。</p> <p>【今後の課題及び取組み予定について】</p> <p>計画段階において、イベント当日の来場者を 5,000 名程度と見込んでいたが、実績は 2,675 名と低調に推移した。</p> <p>天候も良く、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症の広がりもなかったことや、チラシやメディアを活用した告知は予定どおり行うことができたことから、当初予定していた「SNS を活用した告知」が予定どおりにできなかったことが要因だと考える。</p> <p>本事業の目的の一つである「事業所の魅力や地域の魅力を広く伝える」ためにも、一般消費者と直接関わることができる最大の機会であるイベント当日の来場者数の増加を狙って、広報手段の見直しを図りたい。</p> <p>また、今後も継続していくためには運営資金の確保も課題となっており、事業者からの協力や、イベント内容の見直し等を行い、今後の事業継続を目指す。</p>

6 活動写真

○事前の職場体験や打合せ



○当日風景



○成果発表



1 団 体 名	東城路まちなみ協議会
2 事 業 名	街道東城路周辺活性化プロジェクト
3 事 業 費	1,128,079 円（うち補助金：761,000 円,自主財源 208,079 円）
4 事 業 内 容	①まちあるき、まちかどコンサートの実施。 ②まちなみを彩る「1000 行灯プロジェクト」 ③東城路周辺地域の防災アンケートの実施。
<p>「街道東城路周辺活性化プロジェクト」として、上記①～③の事業を実施した。</p> <p>①まちあるき・まちかどコンサートは令和 4 年 9 月 11 日、11 月 3 日に町内関連団体と共催で開催した。 9 月開催分は、夏に東城町内で新型コロナ感染拡大していたことを考慮し、広報を限定的に実施したが、60 名ほどの来場があった。11 月開催分は、コロナ感染者数が減少していたので、市の広報や広島県都市計画課発行のパンフレットにイベント情報掲載するなど、9 月開催分より大々的に広報し、100 名ほどの来場があった。そのうちの約 3 割が市外からの来場者であった。イベントを通じて街道東城路地域を多くの方に PR することができた。</p> <p>②令和 4 年 10 月 16 日に行灯製作ワークショップを開催し、協議会メンバーと地元住民で 50 基の行灯を製作した。他団体が主催した 11 月 2 日～11 月 6 日開催の「東城まちなかぶらり散歩ギャラリー」の際に、製作した行灯を貸出し、東城路に展示された。夜にはライトアップが実施され、イベント期間中の東城路地域の賑わいを支援することができた。</p> <p>③東城地区のハザードマップにおいて浸水する可能性がある世帯を対象とし、地域の防災意識の調査や平成 30 年 7 月豪雨災害で被災し空き地となった土地の利活用についてのアンケートを実施した。配布した 1244 枚中 419 枚（約 33%）の回答が得られた。多様な意見、提案が得られたので、今後は協議会としての具体的な取り組みについて議論を深め、各関係機関に提案していく予定である。</p>	
5 波 及 効 果	
<p>令和 4 年度開催のまちあるき・まちかどコンサートは、ヤマモトロックマシン（株）所有の旧自治寮で開催した。この旧自治寮は、国の有形文化財に登録されている建物で、当協議会とは別の地域団体が利活用し、建物の補修ワークショップや建物見学会などを実施している。この旧自治寮で当協議会が令和 4 年度にイベントを開催したことで、市外の方に街道東城路地域の魅力を PR しただけに留まらず、このイベント運営に協力いただいた地域の他団体やヤマモトロックマシン関係者との交流を促進するきっかけを創出できた。</p> <p>こうした交流をきっかけに、令和 5 年度からヤマモトロックマシン（株）が「ヤマモトプロジェクト」を立ち上げ、当協議会も、プロジェクトの連携団体として参加している。</p> <p>「ヤマモトプロジェクト」とは、ヤマモトロックマシン（株）が観光庁の補助金を活用し、東城町内に観光客を呼び込むための観光拠点や観光コンテンツを造成するプロジェクト。</p> <p>このプロジェクトの一環で当協議会は、11 月 3 日に壁画や「まち宿」のお披露目イベントを開催した。</p> <p>令和 6 年度以降も市外から多くの方を呼び込む仕掛けづくりや、地域をつなげる活動を通じて街道東城路地域活性化に努める。</p>	
6 活 動 写 真	
別紙参照	



R4.9.11 まちあるき



R4.9.11 まちかどコンサート



R4.9.11 交流コンサート



R4. 11. 3 まちあるき



R4. 11. 3 まちかどコンサート



R4. 11. 3 交流コンサート



行灯プロジェクト

R4. 10. 16 実施
ヤマモトロックマシン (株)
旧自治寮での行灯作成作業



行灯プロジェクト

R4. 10 下旬～11 月上旬実施
東城路での行灯ライトアップ



行灯プロジェクト

R4. 10 下旬～11 月上旬実施
東城路での行灯ライトアップ



ヤマモトプロジェクト 関連イベント

R5.9.3 実施
壁画完成お披露目イベント



ヤマモトプロジェクト 関連イベント

R5.11.3 実施
壁画完成お披露目イベント



ヤマモトプロジェクト 関連イベント

R5.11.3 実施
まち宿完成お披露目イベント